



設置・基本操作マニュアル

Business Inkjet WG7350F WG7350FM

設置する➡P.2

基本操作➡P.25

お使いになる前に
コピーする
プリントする
ファクスする
スキャンする
宛先を登録する (アドレス帳)

こんなときは…➡P.38



ご使用前に必ず「安全にお使いいただくために」をお読みください。➡P.44「安全にお使いいただくために」
本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



本機的全機能や操作方法はオンラインマニュアルをご覧ください。
<http://ij.start.canon>

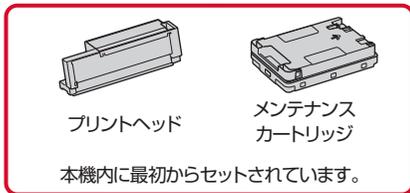
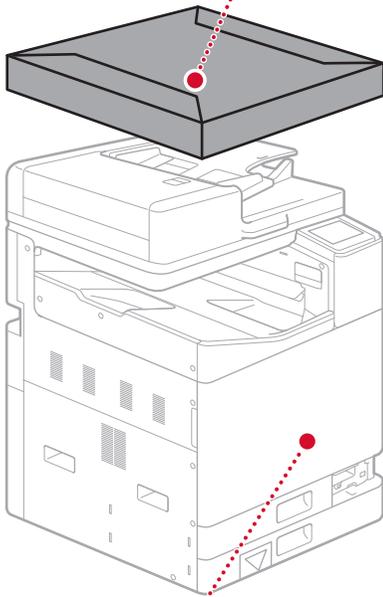
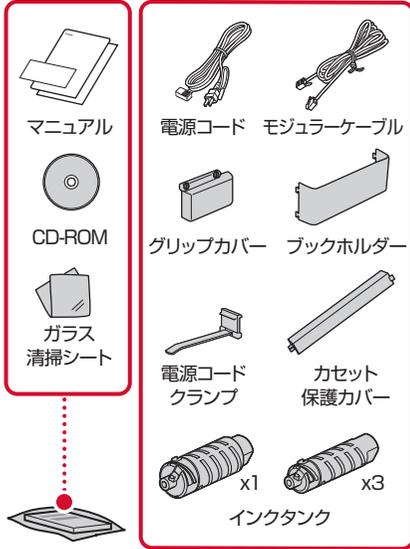


QT62343V02

設置する



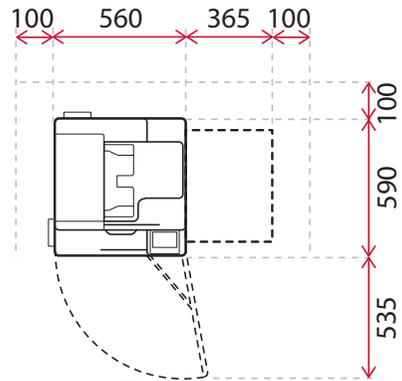
同梱品



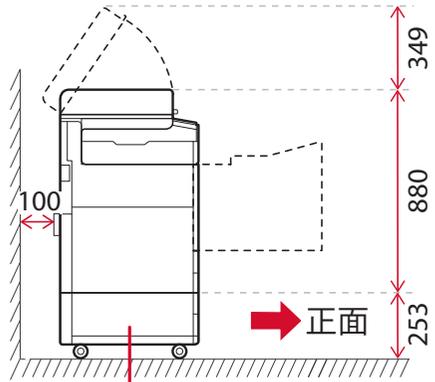
本体を設置する

以下の寸法を参考にして、平らな場所に設置スペースを確保してください（周囲は100 mm以上のスペースをあけてください）。

(mm)



正面



2段カセットペディスタル (オプション)

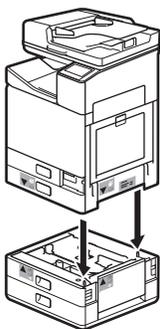


注意

・前カバーは、ロックされているので無理に開けないでください。

2段カセットペディスタル (オプション) を注文された方は

最初に2段カセットペディスタル (オプション) を取り付けてください。設置手順は、2段カセットペディスタルに同梱のマニュアルをご覧ください。



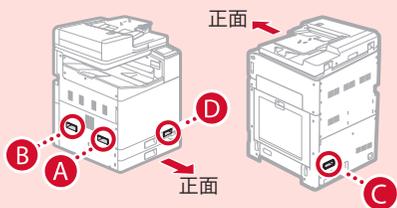
⚠ 注意

・本体底面は持たないでください。また、設置する際は指を挟まないよう注意してください。

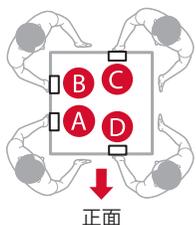
⚠ 運搬するときは

・持ち運ぶときは、必ず4人で4か所の運搬用グリップを持ち、腰などを痛めないように注意してください。運搬用グリップ位置は下図を参照してください。

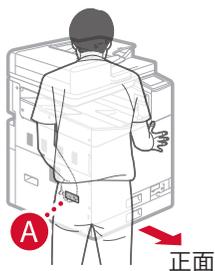
・フィーダー (原稿送り装置) や給紙カセットなどの部分は絶対に持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。



1 本体の角に立ち、それぞれA～Dの運搬用グリップを持つ



・左手でグリップAを持ち、右手で支える



・右手でグリップBを持ち、左手で支える



・右手でグリップCを持ち、左手で支える

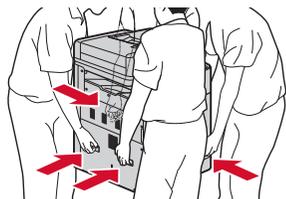


・左手でグリップDを持ち、右手で支える

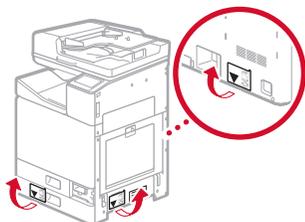


設置する

2 本機を設置する



3 ▼シールと注意ラベルを取り外す

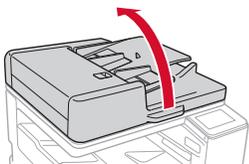


・4枚のシールをすべて取り外します。

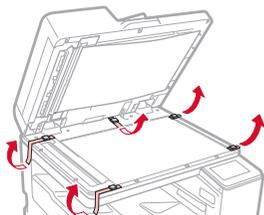
カセットペディスタルの 設置が済んだら

手順4から本機の設置を続けてください。

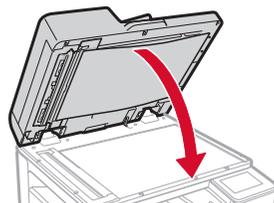
4 テープと保護部材を取り外して フィーダーを開ける



5 原稿台のテープと保護部材を取り 外す

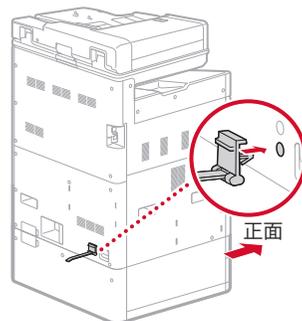


6 フィーダーを閉じる



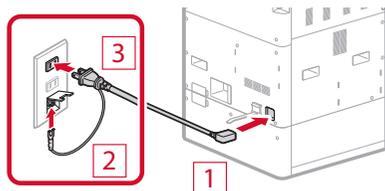
テープはすべて取り外してください。

7 電源コードクランプを取り付ける

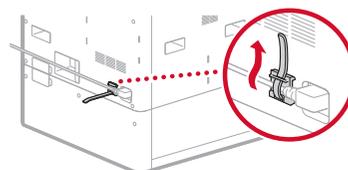


・本機背面にある電源コード差し込み口の隣に強く押し込んで装着し、しっかり固定されていることを確認してください。

8 電源コードを取り付ける



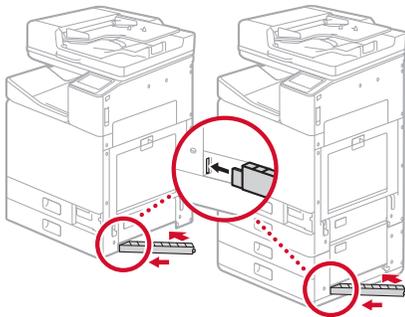
9 電源コードクランプで電源コード を固定する



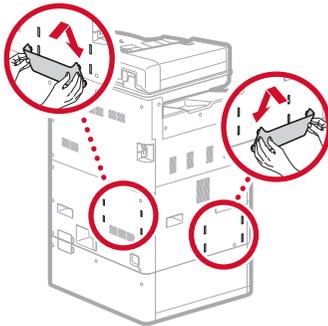
本体の初期設定をする

10 カセット保護カバーを本体右側面下に取り付ける

2段カセットペディスタル
(オプション) 装着時

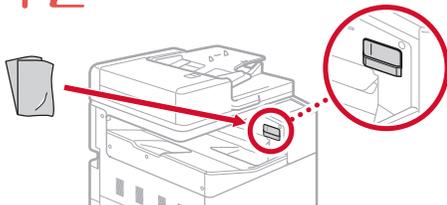


11 ブックホルダーを左側面または背面に取り付ける



・設置が終了したら本書をここにしまってください。

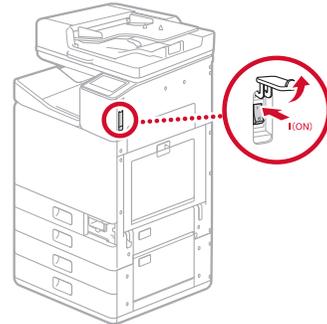
12 ガラス清掃シートを収納する



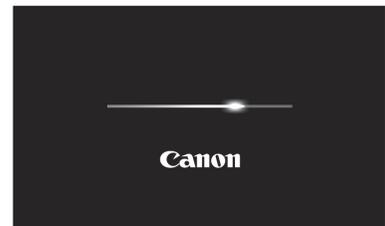
グリップカバーは、電源を入れたあとに取り付けます。



1 電源を入れる



設定ナビに従って設定を行う



初めて本機の電源を入れたとき、画面に沿って初期設定を行う設定ナビが始まります。

設定ナビ項目

1. 現在日時の設定
2. 固定部材の除去
3. インクタンクの取り付け(インク充填)
4. 情報送信と不正アクセス保護の設定
5. ネットワーク接続
6. カセットペディスタルの余白調整
7. ノズルチェックパターン印刷による確認

設定ナビの作業がすべて完了するまでには約50～80分かかります。時間はお客様の設定内容・使用環境によって異なります。

設置する

本体の初期設定をする

本体内部の固定部材を取り外す

設定ナビが起動しないときは

オンラインマニュアルを参照して初期設定を行ってください。

お使いになるために必要な作業

➔ **オンラインマニュアル**

23LX-002

🔍 検索

設定ナビで設定をやり直すときは

手順を間違えたり、設定をやり直したいときは、設定ナビ終了後、メニューから設定をやり直すことができます。

2 現在の日時を設定する

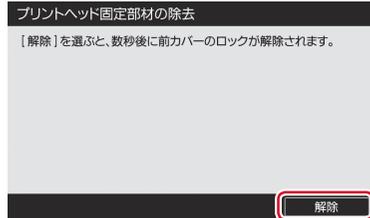


<確定>を押す



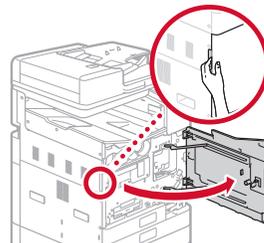
本体内部の固定部材を取り外す

1 <解除>を押す

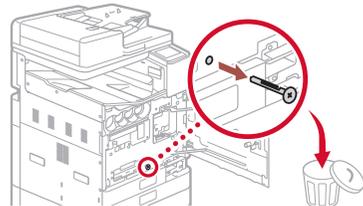


・画面が表示されるまで開けないでください。

2 本体前カバーを開ける

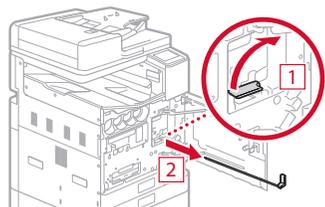


3 出荷用固定部材（オレンジ色）を取り外す



・矢印の方へまっすぐ引き抜いてください。外した部材は捨ててください。

4 プrintヘッド固定部材を引き抜く

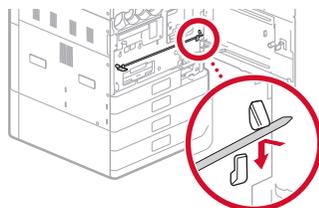


・ ①のレバー(青色)を上げ、②の方向へまっすぐすべて引き抜いてください。

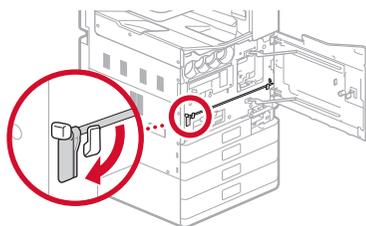
5 プrintヘッド固定部材を収納する



・ 青色のレバー部分を手前に向け、左側を付き当てて引っ掛ける。



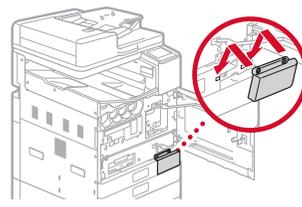
・ 右端をフックに引っ掛ける。



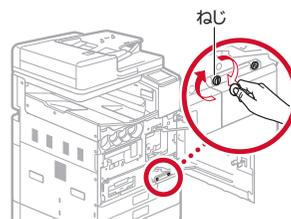
・ 両端をセットしたら、青色のレバーを下側に回転させて固定する。

プリントヘッド固定部材は輸送の際に必要になります。捨てずに保管してください。

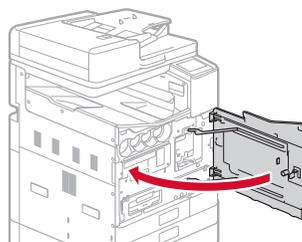
6 グリップカバーを取り付ける



コインなどでねじを回して固定する



7 本体前カバーを閉じる



続いて、インクタンクを取り付けます。

設置する

インクタンクを取り付ける

1 <解除>を押す

インク装着

【解除】を選ぶと、数秒後に前カバーのロックが解除されます。

解除

インクタンクの交換

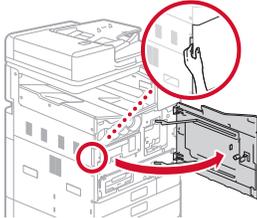
前カバーを開ける

1/4

次へ

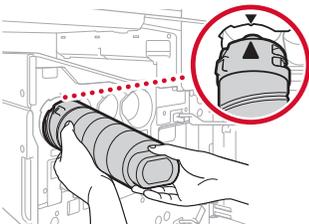
・画面が表示されるまで開けないでください。

2 本体前カバーを開ける

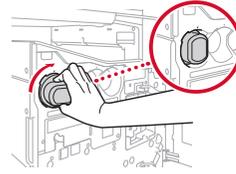


3 インクタンクを袋から出し、三角のマークを合わせて差し込む

・インクタンクの位置は、左からBK、C、M、Yになります。

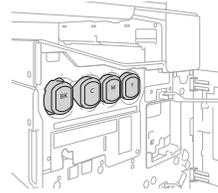


インクタンクをつまみを持って右方向へ回す

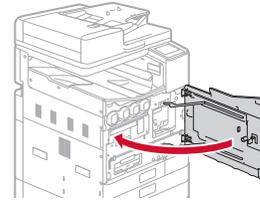


・カチッと音がするまで回してください。

すべてのインクタンクを取り付ける



4 本体前カバーを閉じる



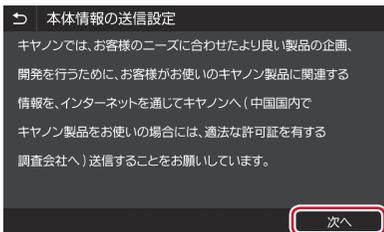
インク充填が開始される

- ・充填は約40～70分かかります。充填時間は、使用環境によって異なります。
- ・充填中は電源を切らないでください。
- ・電源オフなどで中断した場合、追加のインクタンクが必要になる場合があります。
- ・充填中に「2段カセットペディスタル（オプション）の余白調整をする」(P.15) まで設定を行うことができます。

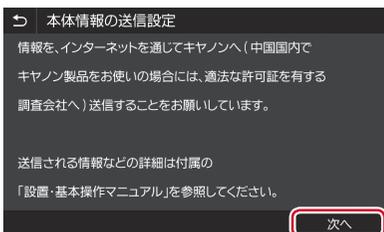
続いて、情報送信と不正アクセス保護の設定をします。

情報送信と不正アクセス保護の設定をする

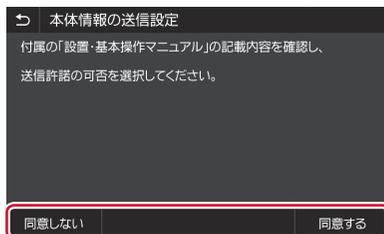
1 本体情報の送信設定を確認する



＜次へ＞を押す



2 送信許諾の可否を選ぶ



キヤノンへの情報送信について

キヤノンでは、お客様のニーズに合わせたより良い製品の企画、開発を行うために、また、お客様にあわせてご提案、サービスを提供させていただくために、お客様がお使いのキヤノン製品に関連する以下のような情報を、インターネットを通じてキヤノンへ（中国国内でキヤノン製品をお使いの場合には、適法な許可証を有する調査会社へ）送信することをお願いしています。

プリンター/スキャナー/ファクス/情報端末に関する情報

- ・プリンターのID番号、設置日時、国の設定等の基本情報
- ・装着されたインクの種類、インク使用情報、印刷枚数、スキャン回数、メンテナンス情報等の使用状況履歴
- ・用紙使用情報、印刷環境/条件、スキャンの設定、アンケート結果
- ・お使いの情報端末の機種名、OSのバージョン、言語、画面設定等の基本情報
- ・デバイスドライバーとアプリケーションソフトウェアのバージョン、使用状況履歴

*上記の情報は、お使いの機種・アプリケーションソフトウェアにより送信されない情報もあります。

キヤノン製品を共有でお使いの場合には、当該共有製品に記録された上記の情報が送信されます。同意される方は、共有で使用される方にこの事実をお伝えいただき、その方の同意も得た上で、同意してください。

本調査では、お客様の個人情報を送信することはありません。そのため、送信された情報からは、お客様を特定することはできません。

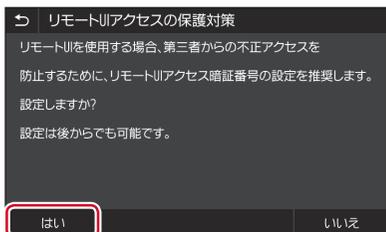
したがって、送信情報開示のご要望にはお応えできませんので、ご了承ください。

上記の情報は、お客様の同意後、インターネットを通じてキヤノンに（中国国内でキヤノン製品をお使いの場合には、適法な許可証を有する調査会社に）送信されます。なお、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担になります。

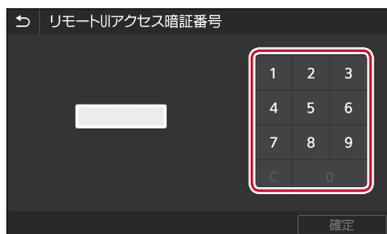
送信された情報はキヤノンのグループ会社に提供される場合があります。

設置する

3 不正アクセスを防ぐための設定をする



リモートUIアクセス暗証番号を入力する（最大7桁の数字）



<確定>を押す



・確認のため、暗証番号の入力は2回行います。

 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。

<いいえ>を選んだ場合

暗証番号は設定されません。より安全なセキュリティのため、暗証番号を設定することをおすすめします。

■ リモートUIとは

リモートUIは、Webブラウザからネットワークを経由して本機にアクセスし、本機の状態の確認やジョブの操作、各種設定などが行えるシステムです。リモートUIの暗証番号を設定しておけば、情報漏えいに対するリスクを軽減できます。

■ ファイルサーバーの宛先をリモートUIから登録

共有フォルダーやFTPサーバーを宛先としてアドレス帳に登録するときは、リモートUIから設定します。

さらに詳しく知りたいときは

パソコンから本機を管理する（リモートUI）

 [オンラインマニュアル](#)

23LX-07W

 [検索](#)

 [検索番号の使いかた](#)  [裏表紙](#)

続いて、パソコンとの接続方法を設定します。

パソコンとの接続方法を 設定する

■ 設定前の注意

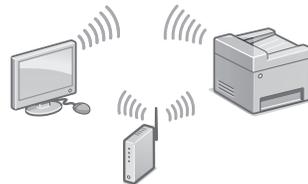
- ・セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- ・ルーター・ケーブル類は付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・本機を有線LANと無線LANで同時に接続することはできません。

設定ナビでは、IPアドレスが自動的に割り振られるDHCP接続になります。
固定IPアドレスを使うなど、DHCP以外でIPアドレス設定を行う場合は、無線LAN接続画面で<いいえ>を選び、ネットワークに接続しないで設定ナビを終了してください。
ホーム画面が表示されたら「ネットワーク・遠隔監視サービス接続マニュアル」を参照して、設定を行ってください。

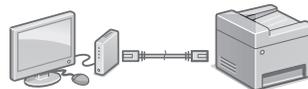
■ 接続方法を選ぶ

通信環境やお使いの機器に合わせて接続方法を選択し、各ページに移動して設定を行ってください。

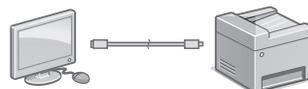
無線LANで接続するときは ➡ P.12



有線LANで接続するときは ➡ P.14



USBで接続するときは ➡ P.15



 無線LANルーターのない環境でも「アクセスポイントモード」を使うと、お手元のモバイル機器から無線で本機に直接接続できます（ダイレクト接続）。

ダイレクト接続は、設定ナビが完了してから行ってください。

ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）

➡ オンラインマニュアル

23LX-069

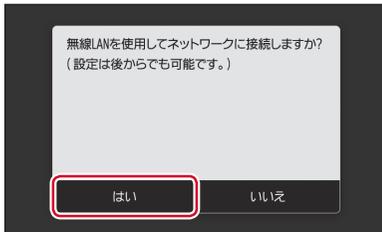
 検索

設置する

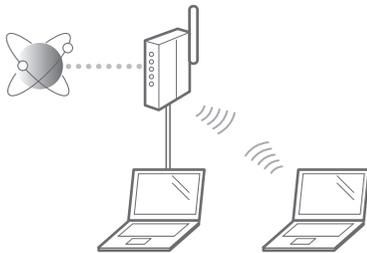
■ 無線LANで接続する

- ・ 固定IPの場合:下記手順1で<はい>を選び余白調整を行います。
➔ P.15
- ・ DHCPの場合:以下の手順へ進みます。

1 無線LAN接続画面で<はい>を押す



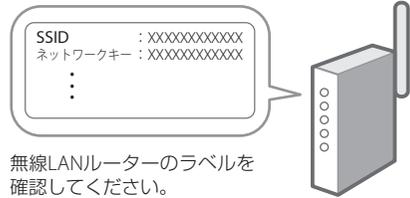
2 パソコンと無線LANルーターが正しく接続されていることを確認する



- ・ ルーターは付属していません。
- ・ 詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧くださいか、メーカーにお問い合わせください。

3 パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4 SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名)とネットワークキー (暗号化キー)を確認する



無線LANルーターに以下のマークがあるときは、ボタンを押すだけで簡単に設定することができます。



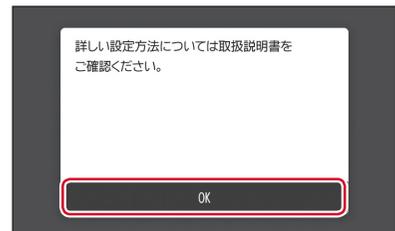
WPS / AOSS / らくらく無線スタートで自動設定する ➔ **オンラインマニュアル**

23LX-00A

検索

検索番号の使いかた ➔ 裏表紙

5 確認画面で<OK>を押す



6 設定方法を選ぶ



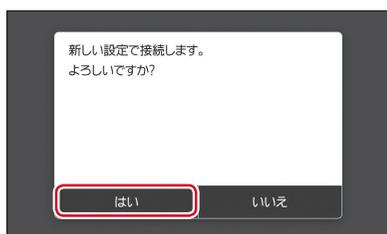
7 <アクセスポイント選択>を押す



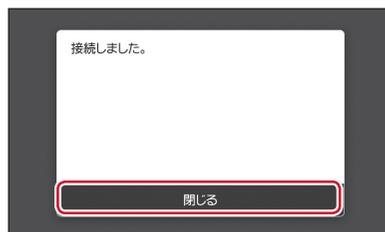
8 画面に従って、手順4で確認した SSIDとネットワークキーを設定する



<はい>を押す



<閉じる>を押す



・数分後に自動的にIPアドレスが設定されます。

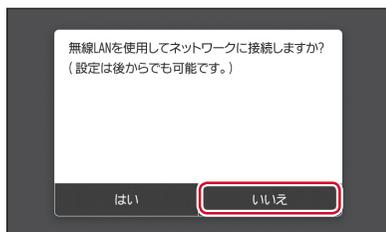
続いて、余白調整を行います。
➡ P.15

設置する

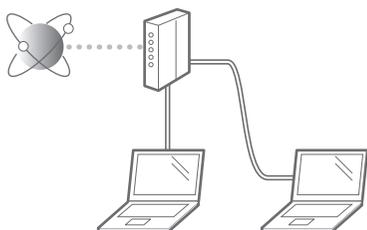
■ 有線LANで接続する

- ・ 固定IPの場合:下記手順1で<いいえ>を選び余白調整を行います。
➔ P.15
- ・ DHCPの場合:以下の手順へ進みます。

1 無線LAN接続画面で<いいえ>を押す



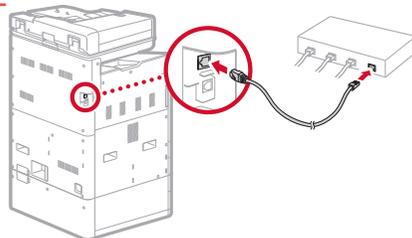
2 パソコンとルーターが正しく接続されていることを確認する



- ・ 詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。メーカーにお問い合わせください。

3 パソコン側のネットワーク設定が完了していることを確認する

4 LANケーブルを接続する



- ・ LANケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・ 接続したらそのまま数分間待ちます (自動的にIPアドレスが設定されます)。

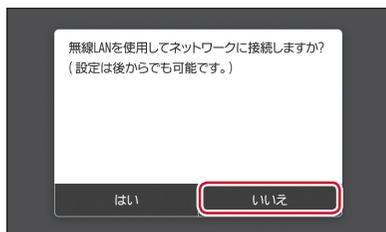
続いて、余白調整を行います。
➔ P.15

■ USBで接続する

- ・ USBケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・ USBケーブルは、右のマークに対応しているケーブルをご使用ください。
- ・ USBケーブルは、ソフトウェアのインストール画面で指示があるまで接続しないでください。万一接続してしまったら、パソコンからUSBケーブルを抜き、ダイアログボックスを閉じてください。



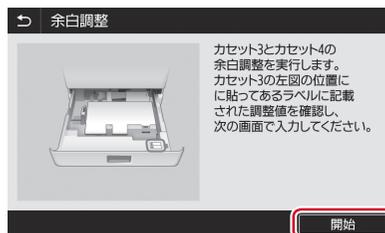
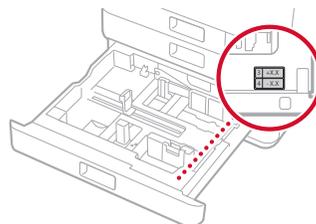
1 無線LAN接続画面で<いいえ>を押す



続いて、余白調整を行います。

2段カセットペディスタル (オプション)の余白調整をする

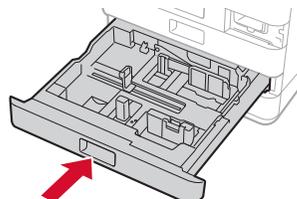
1 給紙カセット3を引き出し、余白調整値を確認する



2 手順1で確認した値を入力する



3 カセットを本体に戻す



⚠ カセットと本体のすき間に指を挟まないように注意してください。

続いて、ノズルチェックパターンを印刷して確認します。

設置する

ノズルチェックパターンを印刷して確認する

ノズルチェックパターンを印刷し、印刷結果を見てプリントヘッドを適切な状態かどうかを確認します。印刷結果にスジやムラがある場合は、クリーニングを行います。

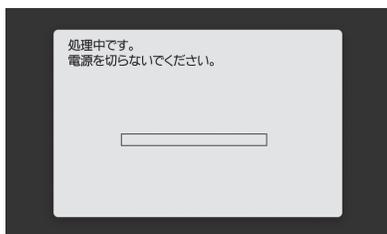
給紙カセットにA3/11x17/LTR/A4のいずれかの普通紙をセットしてください（A3または11x17を推奨します）。

あらかじめ用紙を10枚以上セットしておくことをおすすめします。

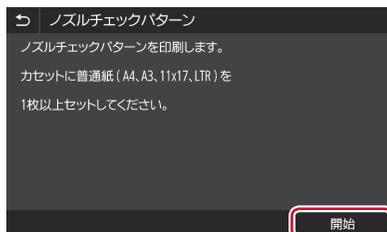
 基本的な用紙のセット方法は、以下をご覧ください。

給紙カセットの場合  [P.26](#)

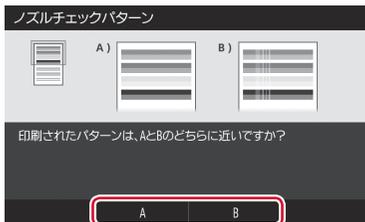
- ・以降の手順を進めるには、充填が完了している必要があります。
- ・インク充填が完了するまでプログレスバーが表示されます。



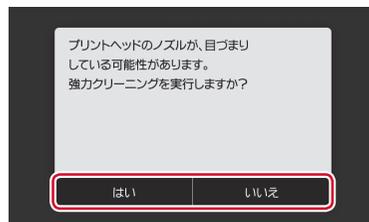
1 <開始>を押して、パターンを印刷する



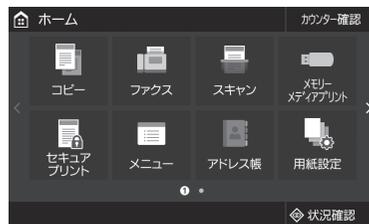
2 印刷されたパターンを確認する



印刷結果に問題がなければ、<A>を押してノズルチェックを完了します。印刷結果にスジやムラがある場合は、を押してクリーニングを行います。



・ノズルの状態によっては、確認とクリーニングを複数回実施する場合があります。



・ホーム画面が表示されれば設定は完了です。

続いて、ネットワーク・遠隔監視サービス接続の設定を行います。

ネットワーク・遠隔監視サービス接続の設定

設定ナビが完了したら、続けてネットワーク・遠隔監視サービス接続の設定を行います。設定する項目は、接続状況、サービス利用状況などによって異なります。下記の条件に該当する設定を確認してください。

■ 固定IPアドレスを使用する場合

「ネットワーク・遠隔監視サービス接続マニュアル」の「固定IPアドレスでネットワークに接続する」へ進んでください。

■ 遠隔監視サービスを利用する場合

遠隔監視サービスとは

WG7350FMをご利用の際は、遠隔監視サービスへの接続が必要になります。遠隔監視サービスは、消耗品が少なくなった際、遠隔監視サーバーにその情報を発信して、消耗品を自動配送してもらうなどのサービスを受けることができます。

「ネットワーク・遠隔監視サービス接続マニュアル」の「遠隔監視サービスに接続する」へ進んでください。

■ その他の場合

下記のような場合は、設定は必要ありません。

「ソフトウェアをインストールする (➡ P.18)」へ進んでください。

- DHCPを用いてIPアドレスを自動で取得する。
- USB接続のみで使用するので、IPアドレスは設定しない。
- 遠隔監視サービスを利用しない。

設置する

ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールする前に
ネットワーク経由（有線LAN/無線LAN）でソフトウェアをインストールする場合は、あらかじめネットワークに接続しておく必要があります。
固定IPアドレス等、DHCP接続以外の方法でネットワーク接続する場合は、ネットワーク・遠隔監視サービス接続マニュアルを参照してください。
適切にネットワーク接続が完了したうえで、以降の「ソフトウェアをインストールする」に進んでください。

USBで接続するときは

USBケーブルは、インストール画面で指示があるまで接続しないでください。万一接続してしまったら、パソコンからUSBケーブルを抜き、ダイアログボックスを閉じて、手順1からやり直してください。

画面が正しく表示されないときは

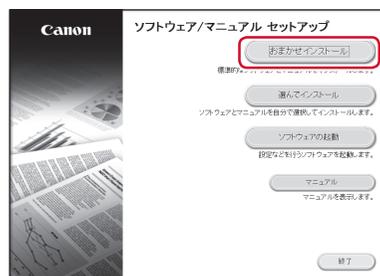
CD-ROMを入れ直すか、Windowsで「D:¥MInst.exe」を検索してください（CD-ROMドライブ名は「D:」として説明）。

macOSをお使いのお客様へ

macOS用のドライバーは、付属されていません。最新ドライバーがキヤノンホームページに順次掲載されますので、ダウンロードしてお使いください。

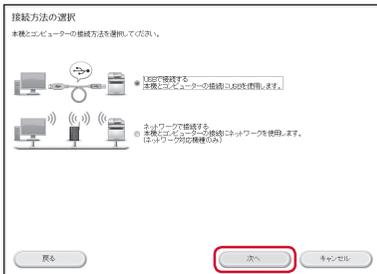
ドライバーやソフトウェアをインストールします。インストールの詳細は、ドライバーインストールガイドを参照してください。

- 1 パソコンにCD-ROMをセットする
- 2 [おまかせインストール] をクリックする



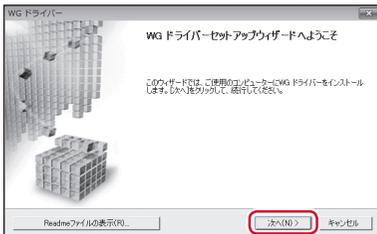
- ・[おまかせインストール]
WGドライバー、WG Scan Utility、マニュアルをインストールします。インストールの詳細は、オンラインマニュアルを参照してください。
- ・[選んでインストール]
WGドライバー、WG Scan Utility、マニュアルの中から選択してインストールします。
- ・[ソフトウェアの起動]
すでにインストールしてあるマニュアルをアンインストールするためのソフトウェアを起動します。
- ・[マニュアル]
オンラインマニュアルを開きます。

3 接続方法を選ぶ



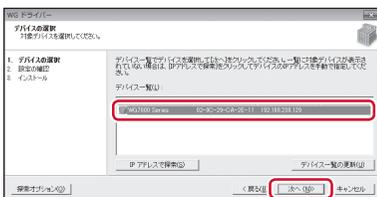
- ・使用する接続方法をクリックしてチェックマークをつけたら、[次へ]を押してください (P.11で設定した接続方法と同じになるようにしてください)。

4 [次へ] をクリックする



ファイアウォールのブロック解除画面が表示された場合は、[はい] を押してください。

5 デバイス名を選択し、[次へ] をクリックする



- ・デバイス一覧から製品名 [WG7000 Series] を選択して [次へ] を押してください。

6 オンラインマニュアルへのショートカットをインストールする



7 [終了] をクリックする



続いてファクスの設定を行います。
➔ P.20

設置する

ファクスの設定をする

■ ファクス設定の前に

- ・ 接続できる電話回線は、一般加入電話回線（PSTN）です。これ以外の専用電話線を接続した場合は、本機の通信機能が使用できなくなる可能性があります。
- ・ 本機はNTTのアナログ回線規格に準拠しており、光回線やADSLを利用した場合、正しく接続できないことがあります。

電話回線に接続する ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-01H

🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ [裏表紙](#)

■ 受信モードを選ぶ

ファクスの設定では、用途に合わせて受信モードを選択します。以下の4つから選んで、設定の前に受信モードを決めておきましょう。

ファクスしか使わない

➡ 自動受信



※工場出荷時は、自動受信に設定されています。

留守番電話を使う／ファクスは自動で受信する

➡ 留守 TEL 接続



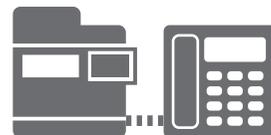
電話も使う／ファクスは毎回手動で受信する

➡ 手動受信



電話も使う／ファクスは自動で受信する

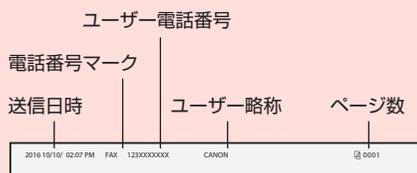
➡ FAX/TEL切替



■ 設定をする

ユーザー電話番号とユーザー略称について

「ユーザー電話番号」と「ユーザー略称」は、発信元情報として相手の出力紙の上部にプリントされます。

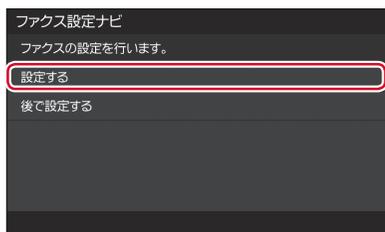


・漢字で登録をする場合は、リモートUIから入力してください。

1 ホーム画面で<ファクス>を押す



2 ファクス設定ナビで<設定する>を押す



・後からファクスの設定をすることもできます。

ファクスの設定をする

➡ オンラインマニュアル

23LX-01A

🔍 検索



検索番号の使いかた

➡ 裏表紙

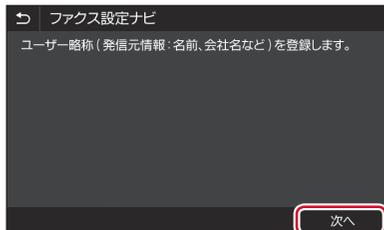
3 <次へ>を押す



4 ユーザー電話番号を入力して<確定>を押す



5 <次へ>を押す

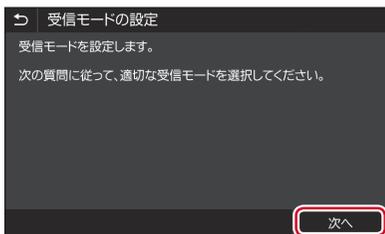


設置する

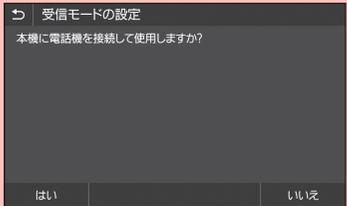
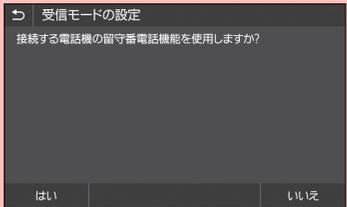
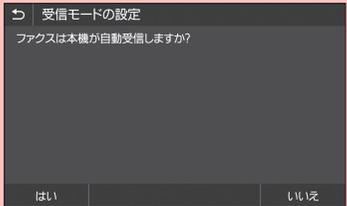
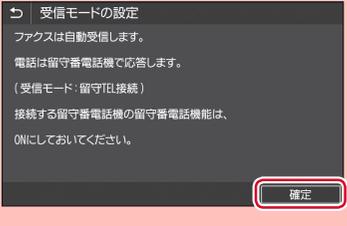
6 ユーザー略称を入力して<確定>を押す



7 <次へ>を押す



8 P.20 「受信モードを選ぶ」で選んだモードを設定する

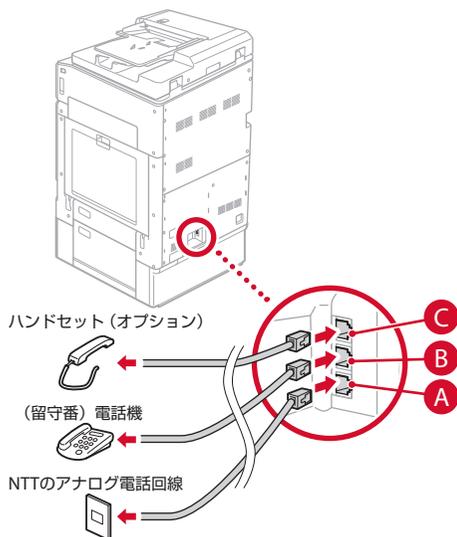
画面表示	自動受信	留守TEL接続	手動受信	FAX/TEL切替
	いいえ	はい	はい	はい
		はい	いいえ	いいえ
			いいえ	はい
	受信モード： 自動受信	受信モード： 留守TEL接続	受信モード： 手動受信	受信モード： FAX/TEL切替

モードを確認し<確定>を押す

設置する

9 電話回線に接続する

接続が終わるまで<終了>は選ばないでください。



電話機とハンドセットは付属していません。

ハンドセット (オプション) の取り付けは
オンラインマニュアルを参照してください。

電話回線に接続する

➡ オンラインマニュアル

23LX-01H

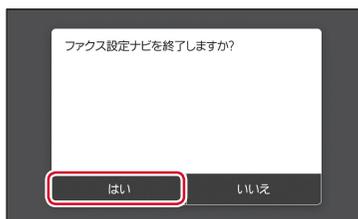
🔍 検索

📖 検索番号の使いかた ➡ 裏表紙

10 <終了>を押す



11 <はい>を押し、ファクス設定ナビを終了する

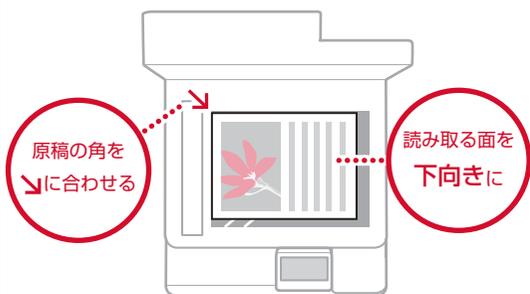


これでファクス設定は終了です。

お使いになる前に

原稿は正しく置きましょう

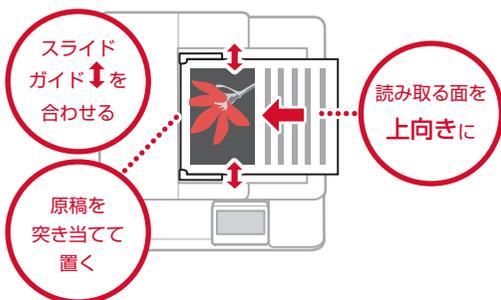
原稿台ガラスに置く



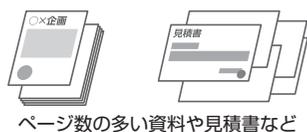
こんな原稿におすすめ



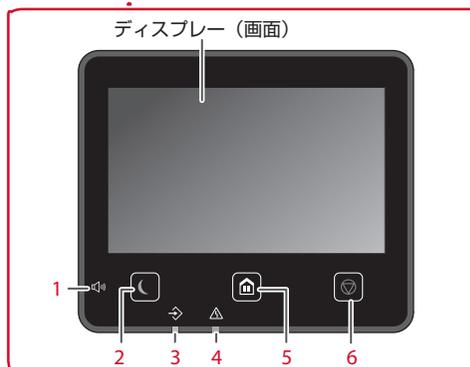
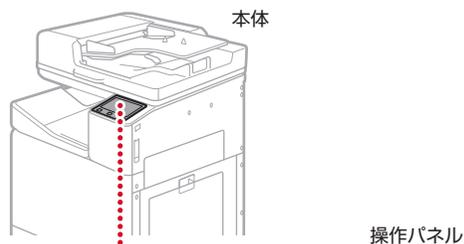
フィーダーに置く



こんな原稿におすすめ



操作パネルから操作開始



ディスプレイの液晶保護シートは、はがしてお使いください。

- 1. 音量キー**
音量を調整するときに押します。
- 2. 節電キー**
スリープモード（節電状態）を起動／解除するときに押します。
・点灯：スリープモード中
・消灯：スリープモード解除中
- 3. データランプ**
・点滅：通信中などの動作中
・点灯：処理待ちの文書がある
- 4. エラーランプ**
・点滅：紙づまりなどのエラー
・点灯：主電源をオフオンする必要があるエラー
- 5. ホームキー**
コピーなど各機能の入り口となるホーム画面を表示するときに押します。
- 6. ストップキー**
動作を止めるときに押します。

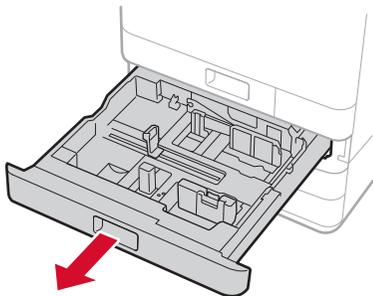
お使いになる前に

用紙をセットする

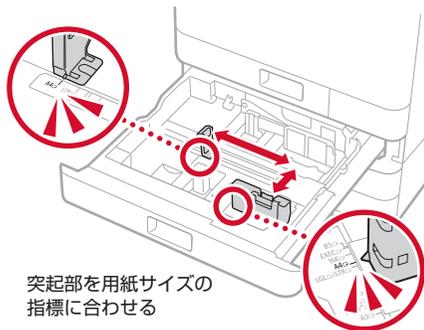
■ 給紙カセットにセットする

共通の操作は、給紙カセット2 を例にして説明します。

1 給紙カセットを引き出す



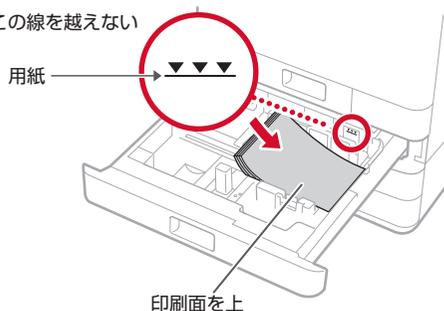
2 水色のつまみをスライドさせて、用紙ガイドを調整する



突起部を用紙サイズの指標に合わせる

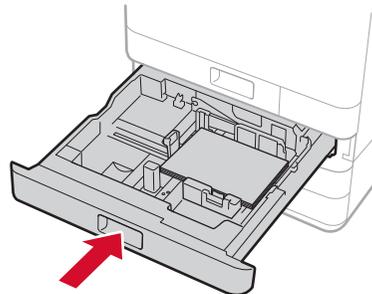
3 用紙をよくさばいてからセットする

この線を越えない



用紙ガイドに合わせて用紙を横向きにセットしてください。

4 カセットを本体に戻す



! カセットと本体のすき間に指を挟まないように注意してください。

用紙の種類を変えた場合は、必ず用紙設定を行ってください。

■ 用紙の設定をする

1  を押し、<用紙設定>を押す

2 給紙部を選択する



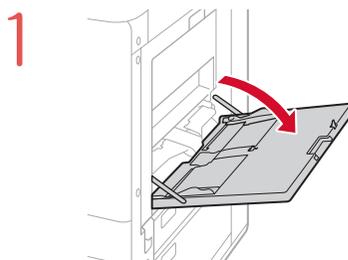
用紙サイズを選択する



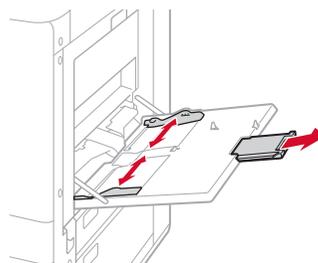
用紙種類を選択する



■ 手差しトレイにセットする



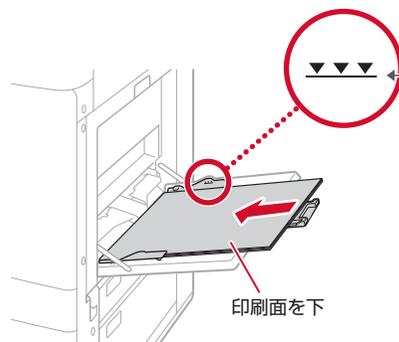
2 用紙ガイドを調整する



・大きなサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。

3 よくさばき、平らな場所で用紙の端をそろえてから、セットする

この線を越えない



お使いになる前に

4 用紙サイズと種類を確認し、<確定>を押す



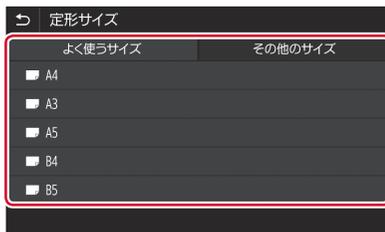
■用紙サイズや種類がセットした用紙と異なる場合は

手順4の画面で、手動で設定を変更します。

1 <定形サイズ>を押す



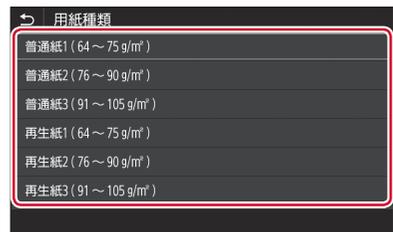
用紙サイズを選択する



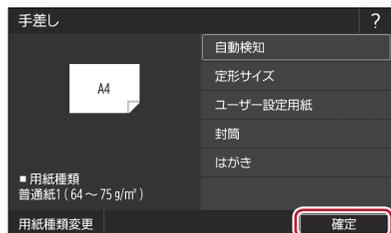
2 用紙種類を設定する



用紙種類を選択する



3 用紙サイズと種類を確認し、<確定>を押す

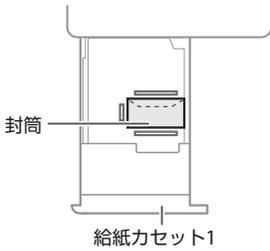
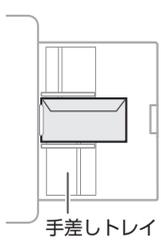
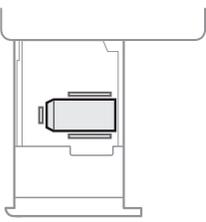
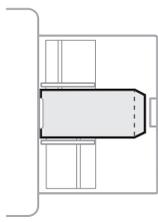
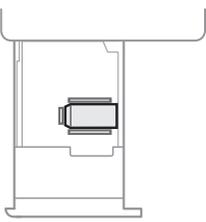
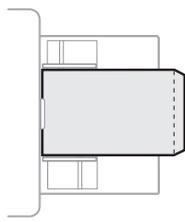


封筒・はがきをセットする

■ 用紙をセットする

- ・封筒、はがきをセットする前に、カールを取り、整えてからセットしてください。
- ・封筒のウラ面（貼り合わせがある面）にはプリントしないでください。
- ・給紙カセット1の場合は封筒のおモテ面を上にして、手差しトレイの場合は封筒のおモテ面を下にしてセットします。
- ・封筒のフラップ（ふた）は、イラストのようにしてください。

次の表を参考に、イラストに合わせて正しい向きにセットしてください。

	給紙カセット1 (印刷面：上)	手差しトレイ (印刷面：下)
洋形4号 洋形6号 洋形長3号 Monarch COM10 No.10 DL ISO-C5	 封筒 給紙カセット1	 手差しトレイ
長形3号		
長形4号		—
角形2号	—	



お使いになる前に

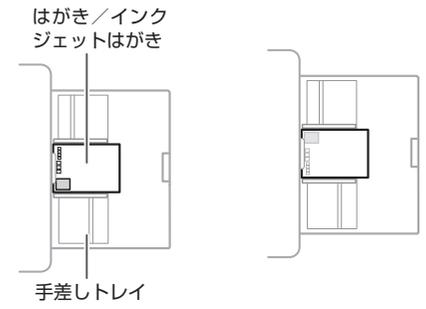
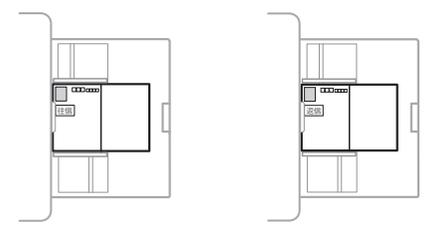
はがきのセットについて詳しく知りたいときは

はがきをセットする [オンラインマニュアル](#)

23LX-0EW

検索

封筒・はがきをセットする

	給紙カセット1 (印刷面：上)	手差しトレイ (印刷面：下)
はがき インクジェットはがき	—	通信面 宛名面  はがき／インク ジェットはがき 手差しトレイ
往復はがき	—	返信面 往信面 
4面はがき	—	通信面 宛名面 

■ 用紙の設定をする

P.31を参照し、用紙の設定をします。

基本的な用紙のセット方法は、以下をご覧ください。

給紙カセットの場合 [P.26](#)

手差しトレイの場合 [P.27](#)

用紙の設定を変えるときは

用紙を変えたときは

用紙のサイズや種類を変更したときは、必ず用紙設定を行ってください。

1  を押し、＜用紙設定＞を押す

2 給紙部を選択する



用紙サイズを選択する



・＜自動＞を選択すると、本機が検知した用紙サイズが設定されます。

用紙種類を選択する



定型サイズ以外の用紙をセットしたときは

用紙サイズと種類を設定する

 オンラインマニュアル

23LX-032

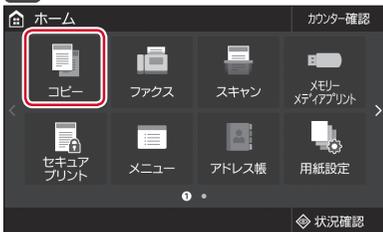
 検索

 検索番号の使いかた  裏表紙

コピーする

1 原稿をセットする
➡ P.25 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、<コピー>を押す



3 コピー部数を入力し、必要に応じて**コピー設定**をする



4 <スタート>を押す



■ ページ集約

複数の原稿を縮小して1枚の用紙にコピー。用紙を節約できます。



■ 両面・片面

2枚の原稿を両面コピーしたり、両面原稿を2枚に片面コピーしたりできます。

■ 拡大・縮小

「A5→A4」など定型サイズ変倍や、1%刻みの拡大／縮小ができます。

さらに詳しく知りたいときは

コピーする ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-0F6

 検索



検索番号の使いかた ➡ [裏表紙](#)

身分証明をコピーするとき便利！

■ IDカードコピー

運転免許証や健康保険証など、IDカードの表裏を1枚の用紙に等倍コピーできます。



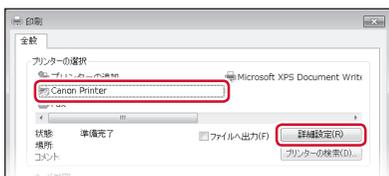
IDカードをコピーする ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-048

 検索

プリントする

- 1 印刷したい文書を開き、アプリケーションの印刷機能を選ぶ
- 2 本機のプリンタードライバーを選び、**「詳細設定」**または**「プロパティ」**を選ぶ



- 3 給紙部、用紙種類を設定する



- 4 部数、用紙サイズを設定し、必要に応じて**「プリント設定」**をする



・ [OK] を選び、印刷画面で [印刷] または [OK] を選択します。

さらに詳しく知りたいときは

各機能の詳細およびそのほかの機能については、ドライバーのヘルプをご覧ください。

■ 両面

用紙の両面に印刷。とじしろも設定できるので、ホチキス留めするときにも便利です。



■ 集約

複数のページを縮小して、1枚の用紙に印刷。サムネイルで閲覧したり、用紙を節約したりするときに便利です。



■ 製本印刷

用紙の両面に2ページずつ原稿を印刷。用紙の中央で折ると本のような体裁になります。



プリントする ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-053

検索

検索番号の使いかた ➡ [裏表紙](#)

ファクスする

1 原稿をセットする
➡ P.25 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、<ファクス>を押す



3 宛先を入力する

 よく使う宛先はアドレス帳に登録しておく
と便利です。

➡ P.36 「宛先を登録する (アドレス帳)」



4 必要に応じてファクス設定をする

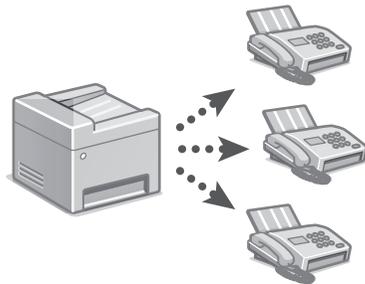


・設定が完了しく<スタート>を押すと
送信が開始されます。

用途に応じてファクス機能を使い分け!

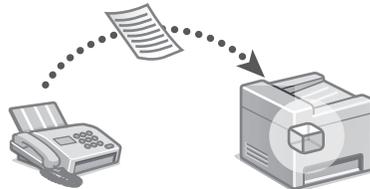
■ 同報送信

1回の操作で最大310件の宛先にファクスを
送信できます。



■ メモリー受信

受信したファクス文書をいったんメモリーに
保存して、好きなときに印刷できます。



■ PCファクス

パソコンで作成した文書を、印刷するのと同
じ要領でファクスすることができます。

さらに詳しく知りたいときは

ファクスする ➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-049

 検索

 検索番号の使いかた ➡ [裏表紙](#)

スキャンする

1 原稿をセットする
➡ P.25 「原稿は正しく置きましょう」

2  を押し、<スキャン>を押す



3 **スキャンの種類**を選び、情報を入力する

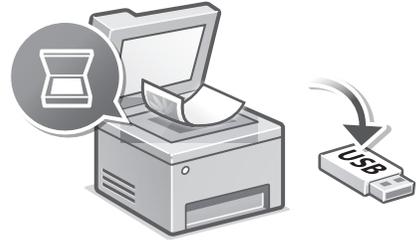


4 <白黒スタート>または<カラースタート>を押す



■ USBメモリーに保存

本体に差したUSBメモリーに直接保存！データの持ち運びが簡単です。



■ Eメール送信

本機から直接Eメールで送信します。パソコンを通さずスピーディー！

■ ファイルサーバーへ送信

スキャンデータをパソコンの共有フォルダーやFTPサーバーに保存します。宛先は、あらかじめリモートUIから登録してください。

さらに詳しく知りたいときは

スキャンの基本操作
➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-05F

 検索

 検索番号の使いかた ➡ [裏表紙](#)

パソコンからスキャンするときは？

■ WG Scan Utility

スキャンデータを指定したアプリケーションに転送したり、Eメールソフトのメッセージに添付したりできます。画像処理アプリケーションからスキャンすることもできます。



パソコンを使ってスキャンする (リモートスキャン)
➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-063

 検索

宛先を登録する (アドレス帳)

宛先は、あらかじめアドレス帳に登録しておくことで簡単に呼び出せます (300件まで登録可能)。

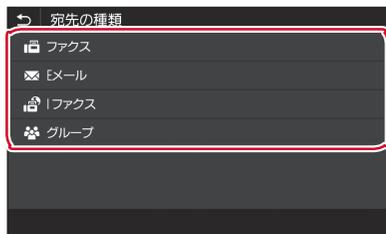
- 1  を押し、<アドレス帳>を押す



- 2 <新規登録>を押す



- 3 宛先の種類を選び、情報を入力する



- 4 名称を入力して<確定>を押す



・リモートUIを使うと、宛先の名称を漢字やひらがなで登録できます

- 5 <ファクス番号>、<Eメールアドレス>、または<Iファクスアドレス>を選び入力する



・ファイルサーバーを宛先にして登録するときは、リモートUIから設定します。(➡ P.10「ファイルサーバーの宛先をリモートUIから登録」)

- 6 <ベストメンバー>または<短縮ダイヤル>を押す



-  よく使う宛先はベストメンバーに登録することをおすすめします

7 <確定>を押す

Eメール	
宛先の種類	: Eメール
名称	: canon
Eメールアドレス	: abc@defghijk
登録先	: 短縮ダイヤル 001

LDAPサーバー 送信の履歴 **確定**

さらに詳しく知りたいときは

宛先を登録する

 [オンラインマニュアル](#)

23LX-03J

 [検索](#)

 [検索番号の使いかた](#)  [裏表紙](#)

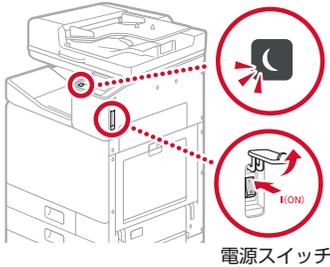
こんなときは…

故障かな?と思ったときは

以下を確認してください。

- 電源は入っていますか?
- スリープモードになっていませんか?

ディスプレイと  が消灯していたら、電源スイッチを押す。



- 電源コードは接続されていますか?

解決しないときは、以下を参考にしてください。

- ・ オンラインマニュアル
- ・ Q&A検索

(<http://cweb.canon.jp/e-support/index.html>)



用紙が詰まったときは

画面の指示に従って、用紙を取り除いてください。



紙が詰まったら

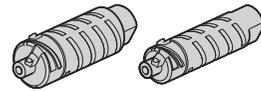
- ➔ オンラインマニュアル

23LX-0AR

検索

消耗品を交換するときは

■ 交換用インクタンク



キヤノン純正インクタンクです。以下のいずれかをお使いください。

WG7350F 用

- ・ ブラック PG7300XL <BK>
- ・ シアン PG7300 <C>
- ・ マゼンタ PG7300 <M>
- ・ イエロー PG7300 <Y>

WG7350FM 用

- ・ ブラック SP5300 <BK>
- ・ シアン SP5300 <C>
- ・ マゼンタ SP5300 <M>
- ・ イエロー SP5300 <Y>

インクタンクを交換する

- ➔ オンラインマニュアル

23LX-09H

検索

■ 交換用メンテナンスカートリッジ



- ・ メンテナンスカートリッジ MC50

メンテナンスカートリッジを交換する

- ➔ オンラインマニュアル

23LX-0HC

検索

きれいに印刷できない

■最初に確認してください

用紙や印刷品質を確認しましたか？

本機の操作パネルまたはプリンタードライバーの設定が、使いたい用紙サイズや種類、印刷品質と合っているか確認してください。

➔ P.27 「用紙の設定をする」

➔ P.33 「プリントする」

設定が合っている場合は、印刷品質の「解像度」設定を上げて印刷してみてください。本機の操作パネルまたはプリンタードライバーで印刷品質の「解像度」設定を上げると、印刷結果が改善される場合があります。

また、＜両面印刷＞／＜濃度 / 乾燥時間調整＞／＜インク節約＞設定によって、色が薄くなる場合があります。

■印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る

確認! ①

プリントヘッドの目詰まりを確認しましたか？

ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください。

➔ P.40 「ノズルチェックパターンを印刷／確認する」

確認! ②

色ムラ補正（用紙共通の補正）は行いましたか？

色ムラ補正（用紙共通の補正）を行ってください。

➔ P.41 「色ムラ補正（用紙共通の補正）を実行する」

確認! ③

以上の手順を実施しても改善されない場合は、色ムラ補正（用紙別の補正）を行ってください。

➔ P.41 「色ムラ補正（用紙別の補正）を実行する」

■色ムラや色すじがある

確認! ①

プリントヘッドの状態を確認しましたか？

プリントヘッド診断を行ってください。

➔ P.42 「プリントヘッド診断を実行する」

確認! ②

以上の手順を実施しても改善されない場合は、色ムラ補正（用紙別の補正）を行ってください。

➔ P.41 「色ムラ補正（用紙別の補正）を実行する」

■色ずれがある

確認! ①

プリントヘッドの位置調整を行いましたか？

色のずれなどを改善するために、プリントヘッド位置を調整してください。

➔ P.42 「プリントヘッド位置を調整する」

こんなときは…

■ コピーがきれいに印刷できない

確認! ①

原稿が原稿台ガラスに正しくセットされていますか？

原稿は読み込む面を下にしてセットしてください。

➡ P.25 「原稿は正しく置きましょう」

確認! ②

本機で印刷したものをコピーしていませんか？

本機から印刷したものを原稿としてコピーする場合、元の写真や文書によっては、きれいに印刷されないことがあります。

本機から直接印刷するか、パソコンから印刷ができる場合はパソコンから印刷し直してください。

確認! ③

原稿読み取りエリアが汚れていませんか？

原稿読み取りエリアを清掃してください。

➡ P.43 「原稿読み取りエリアを清掃する」

ノズルチェックパターンを印刷／確認する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの目詰まりや色ずれを確認することができます。

以下の用紙を用意してください。

ノズルチェックパターン用：

スジやムラを確認したい用紙（薄紙、普通紙、厚紙、再生紙、マット紙、ペーパーのいずれか）
サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：5枚以上

ヘッド位置調整用：

普通紙（再生紙も使用可）

サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：1枚

・A3または11x17をおすすめします。

① 「ノズルチェックパターン用」および「ヘッド位置調整」用紙をそれぞれ別の給紙カセットまたは手差しトレイにセットする

➡ P.26 を参照し、用紙の設定も行ってください。

②  を押し、<メニュー>を押す

③ <調整/メンテナンス> ▶ <メンテナンス> ▶ <ノズルチェックパターン印刷> ▶ 用紙タイプを選択 ▶ <OK> ▶ <開始> を押す

④ ノズルチェックパターンを確認する

・画面の指示に従い、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングやヘッド位置調整を行ってください。

ノズルチェックパターン印刷について詳しく知りたいときは

ノズルの状態をチェックする

➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-0J6

 検索

色ムラ補正（用紙共通の補正） を実行する

色ムラ補正を実施します。

以下の用紙を用意してください。

普通紙（再生紙も使用可）

サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：2枚

・ A3または11x17をおすすめします。

- ① 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットする
 P.26 を参照し、用紙の設定も行ってください。
- ②  を押し、<メニュー>を押す
- ③ <調整/メンテナンス> ▶ <画質調整> ▶ <色ムラ補正> ▶ <スキャナーによる補正> ▶ <用紙共通の補正> を押す
- ④ 色ムラ補正（用紙共通の補正）を実施する画面の指示に従って操作を進める

・ 原稿読み取りエリアが汚れていると、正しく実行されない場合があります。

 P.43 「原稿読み取りエリアを清掃する」

色ムラ補正（用紙別の補正） を実行する

用紙ごとに最適な色ムラ補正を実施します。

以下の用紙を用意してください。

本補正を実施して改善したい用紙（薄紙、普通紙、厚紙、再生紙、マットフォト[®]-パ[®]-のいずれか）

サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：2枚

・ A3または11x17をおすすめします。

- ① 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットする
 P.26 を参照し、用紙の設定も行ってください。
- ②  を押し、<メニュー>を押す
- ③ <調整/メンテナンス> ▶ <画質調整> ▶ <色ムラ補正> ▶ <スキャナーによる補正> ▶ <用紙別の補正> を押す
- ④ 色ムラ補正（用紙別の補正）を実施する用紙種類を選択し、画面の指示に従って操作を進める

・ 原稿読み取りエリアが汚れていると、正しく実行されない場合があります。

 P.43 「原稿読み取りエリアを清掃する」

こんなときは…

プリントヘッド診断を実行する

ヘッド診断、ムラ診断、色ずれ診断を行い、問題があれば解決します。

以下の用紙を用意してください。

普通紙（再生紙も使用可）

サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：5枚

- ・5枚すべては使わないことがあります。
- ・A3または11x17をおすすめします。
- ・表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。
- ・画像の診断と調整にはインクとメンテナンスカートリッジを消費します。

- ① 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットする
➡ P.26 を参照し、用紙の設定も行ってください。
- ②  を押し、<メニュー>を押す
- ③ <調整/メンテナンス>▶<メンテナンス>▶<プリントヘッド診断>▶<診断開始>を押す
- ④ 画面の指示に従って操作を進める

・原稿読み取りエリアが汚れていると、正しく実行されない場合があります。

➡ P.43 「原稿読み取りエリアを清掃する」

プリントヘッド診断について詳しく知りたいときは

プリントヘッドを診断する

➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-0JC

 検索

プリントヘッド位置を調整する

色のずれなどを改善するために、プリントヘッド位置を調整します。

以下の用紙を用意してください。

普通紙（再生紙も使用可）

サイズ：A3、11x17、LTR、A4サイズのいずれか

枚数：1枚

- ・A3または11x17をおすすめします。
- ・表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。

- ① 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットする
➡ P.26 を参照し、用紙の設定も行ってください。
- ②  を押し、<メニュー>を押す
- ③ <調整/メンテナンス>▶<画質調整>▶<ヘッド位置調整>を押す
- ④ 画面の指示に従って操作を進める

・原稿読み取りエリアが汚れていると、正しく実行されない場合があります。

➡ P.43 「原稿読み取りエリアを清掃する」

プリントヘッド位置調整について詳しく知りたいときは

プリントヘッドの位置を調整する

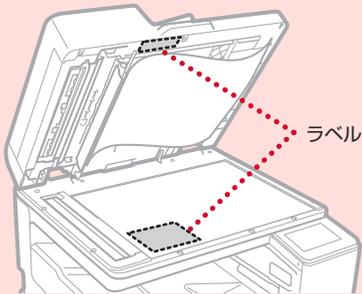
➡ [オンラインマニュアル](#)

23LX-0J8

 検索

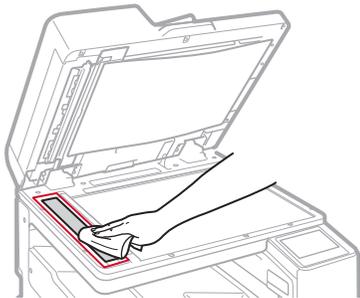
原稿読み取りエリアを清掃する

原稿台ガラス内側とフィーダーに貼ってあるラベルの手順に従って清掃してください。



原稿読み取りエリアの清掃には、付属のガラス清掃シートをお使いください。ガラス清掃シートは原稿読み取りエリアの清掃のみにご使用ください。

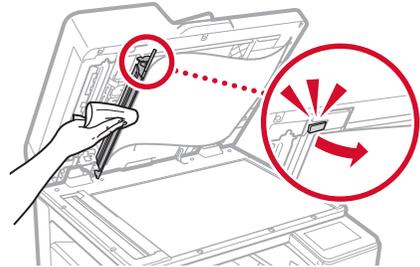
- ① フィーダーを開き、付属のガラス清掃シートで原稿台ガラス側の原稿読み取りエリア（細長いガラス部）を拭く



汚れ防止コーティングが取れてしまうので、ガラスクリーナーやアルコール溶剤等を使わないでください。

- ② フィーダー側の原稿読み取りエリア（細長いガラス部）を拭く

- ③ 原稿読み取り部カバーを開き、原稿読み取りエリア（細長いガラス部）とその対向面を拭く



- ④ 原稿読み取り部カバーをカチッと音がするまで閉める
- ⑤ フィーダーをゆっくり閉じる

汚れを拭いても黒いすじがつかるときは

フィーダーのクリーニングを実行します。

- ①  を押し、<メニュー>を押す
- ② <調整/メンテナンス>▶<メンテナンス>▶<フィーダークリーニング>▶<開始>を押す

日常のお手入れ  [オンラインマニュアル](#)

安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理/変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

■ 設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所（壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上など）
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- オプション品を取り付けたり、取り外ししたりする場合は、電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルと電源コードを取り外してください。電源コードやインターフェイスケーブルが傷つくと、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店またはキヤノンホームページ (<http://canon.jp>) のサポートページにてお問い合わせください。

次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

▲ 注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所

- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みか起きる可能性のある場所（じゅうたん/畳の上など）

次のような場所には設置しない

- コンピューターなどの電子機器や精密機械の近く
電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。
- テレビ、ラジオなどの電子機器の近く
テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のちらつきや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。本機とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

位置固定アジャスターについて（付属製品のみ）

設置したあとは移動や輸送させるとき以外、本製品固定用の位置固定アジャスターは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

無線LANを利用するとき（無線LAN機能搭載製品のみ）

- 無線LANルーターとの距離が50 m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。

▲ 注意

キヤノンプリンター WG7350F/WG7350FMIにカセットベディスタルを使用する場合は、取扱説明書に従って確実に固定してお使いください。また、必ず下記の組み合わせでお使いください。

- キヤノンプリンター-WG7350F/WG7350FMI
- キヤノンのカセットベディスタルCF10
「上記以外の組み合わせで使用する」、「指定以外のカセットベディスタルを使用する」、「プリンター本体に固定しないままカセットベディスタルを使用する」といった使い方をすると、不安定になり、けがの原因になることがあります。

■ 電源について

▲ 警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。
- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

次のような取り扱いには避けてください。

電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くなると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。

- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

アース線を接続してください

- コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース線端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

ご注意

電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

■ 取り扱いについて

▲ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お近くのキヤノン販売店または「キヤノン お客様相談センター」にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切った後、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

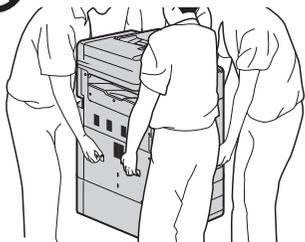
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機から微弱な磁気が出ます。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

▲ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 原稿台ガラスに辞書などの重いものを落とさないように十分注意してください。ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。
- オプションの2段カセットペディスタルは、取り付け状態を持ち運ばないでください。落下してけがの原因になることがあります。



フィーダーについて

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーダーを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーダーは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーダーの奥側に手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

カセットについて

カセットを引き出した状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

節電キーについて

夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

その他の注意事項

- 本機に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源ケーブルを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりやプリンthead異常の原因になります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3 m以内の長さのものを使用してください。
- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

■ 保守／点検について

定期的にも本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、オンラインマニュアル「よくあるご質問」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い上げ販売店またはキヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページにてお問い合わせください。

▲ 警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的な抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的な点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

▲ 注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証券
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

MEMO

関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二閣スル法律
- 印紙等模造取締法

■ 修理依頼・貸与・譲渡・廃棄をするときの注意

本機に個人情報登録したり、各種パスワードなどのセキュリティ情報を設定したりしたときは、それらの情報が本機内に残っている可能性があります。情報の漏えいをさけるため、本機を修理・貸与などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、設定をリセットする（ご購入時の状態に戻す）作業を行ってください。

作業の手順は、オンラインマニュアル「本機を廃棄する」を参照してください。

■ 使用済み製品の廃棄について

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みの複合機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

付録

プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジについて

▲ 警告

プリントヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを火中に投じないでください。また、用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

▲ 注意

- お子様の手が届かないところに保管してください。誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ1、2杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- プrintヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドの金属部分には触れないでください。熱くなっている場合があります。
- プrintヘッド、インクタンク、メンテナンスカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

インクについて

付属のセットアップインクタンクを取り付けて初めて本製品をご使用になる際には、プリントヘッドにインクを満たして印刷可能な状態にするためインクを消費します。このため、セットアップ用インクタンクで印刷できる枚数は、2回目以降に取り付けるインクタンクで印刷できる枚数より少なくなります。また、インクの吹き出し口であるノズルの目詰まりを防いできれいな印刷を保つため、自動的にクリーニングが行われますが、場合によりノズルからインクを吸い出すため、わずかにインクが使われます。

- モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。

インクタンク

- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合の対応は、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクを使用した製品を修理する場合、保守契約の有無、有償/無償修理を問わず、追加の特殊点検などによる特別料金をいただくことがあります。

その他の注意事項

- プrintヘッドは、不必要に取り外さないでください。
- 長期間印刷しないとPrintヘッドが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。最低でも、月に一度は印刷することをお勧めします。

おことわり

■ 安全規格関連の注意マーク

各安全マーク/宣言文は、それぞれ該当する国/地域の電圧/周波数にのみ有効です。

⚡ 保護接地端子

⚠ 注意：高温、触れないよう注意してください

⚠ 可動部あり：可動経路もしくは可動領域から体を離してください。
※お使いの機種によってはマークが表示されない場合もあります。

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の () 内の名称で登録されていることがあります。RMC (Regulatory Model Code): WG7350F/WG7350FM (K10478)

お買い求めの国・地域以外への持ち出しに関する注意事項

本製品はお買い求めの国・地域仕様の製品です。法律または規制により、お買い求めの国・地域以外では使用できない場合があります。それらの国・地域でこの製品を使用して罰せられても、弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 電波について

(無線LAN機能搭載製品のみ)

使用上の注意

- 本製品を医療用の装置や電子機器の近くで使用しないでください。電波の干渉により、それらの装置や機器の動作や性能に影響を与えることがあります。
- 本製品には電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線装置に貼られています。

電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、キヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページを参照し、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) について相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、キヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページを参照し、お問い合わせください。
- 4.

2.4 DS/OF 4

この表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SSまたはOFDM変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される干渉距離は40 mです。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

高調波

高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

設置環境に関する情報

- 本製品は、エコマークに基づく揮発性物質の放散基準を満たしていますが、より快適な環境を保つため、部屋の換気を行うようにしてください。
- 設置環境などによっては、動作音が気になることがあります。その場合は、離れた場所(別室など)に設置することをおすすめします。

修理期間と消耗品について

- 修理対応期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。
- インクタンクなどの消耗品については該当する製品の製造終了後7年間ご購入いただけます。

本書について

画面について

文中で使われている画面は、特に注意書きがない限り、WG7350Fにオプションの「2段力セットベディスタルCF10」を装着したものです。なお、オプションの組み合わせによって使用できない機能もありますが、この場合、画面にその機能は表示されません。

イラストについて

文中で使われているイラストは、特に注意書きがない限り、WG7350Fにオプションの「2段力セットベディスタルCF10」が装着されているものです。

商標について

- Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Safari、Mac、macOSおよびOS Xは、Apple Inc.の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録されたCiscoの商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Chrome、Androidは、Google Inc.の登録商標または商標です。

第三者のソフトウェアについて

お客様がご購入のキヤノン製品 (以下、「本製品」) には、第三者のソフトウェア・モジュール (その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」) が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1~8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。

- ・お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること

- お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に付帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
 7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
 8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。下記のホームページを参照していただき、該当する製品のオンラインマニュアルに記載されている「付録」の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。

<http://ij.start.canon>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、販売店にご連絡ください。

以上

お問い合わせ

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店またはキヤノンホームページ (<http://canon.jp>) 内のサポートページにてお問い合わせください。

macOSをお使いのお客様へ

macOS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

商品別OS対応状況は<http://canon.jp/support>を、最新ドライバーのダウンロードについては<http://canon.jp/download>をそれぞれご覧ください。

お読みになった後は

ブックホルダーにしまってください。➡ P.5

※本書の内容は予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

検索番号の使いかた

1. オンラインマニュアルサイトを表示する
<http://ij.start.canon>
2. 「オンラインマニュアルを読む」を選択し、本機を選ぶ
3. 検索番号でオンラインマニュアルを検索する

XXXX-XXX

🔍 検索

本機を輸送する際は

けがなどの事故を未然に防いだり、内部の機構を保護したりするため、

輸送するときは必ずオンラインマニュアルを参照してください。

手順に従わずに輸送すると、輸送中に内部のインクが漏れ出す可能性があります。

本機を輸送する ➡ オンラインマニュアル

23LX-09K

🔍 検索

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6